

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 国際たくみ情報システム等保守管理費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111 (内3667)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,723 千円 (前年度予算額： 4,613 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,613	0	0	0	0	0	0	0	4,613
要求額	4,723	0	0	0	0	0	0	0	4,723
決定額	4,723	0	0	0	0	0	0	0	4,723

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

国際たくみアカデミー (美濃加茂市)、木工芸術スクール (高山市) の各校における、ITを活用した授業、学生の就職活動支援に活用するための情報システム (通称：国際たくみ情報システム) の機器等を賃借し、維持管理業務を委託する。

(2) 事業内容

令和5年度に整備した、国際たくみ情報システムの機器賃貸借及び維持管理業務委託 (契約期間：令和5年6月～令和11年3月 債務負担行為を設定済み)

(3) 県負担・補助率の考え方
県

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,616	
その他	3,107	賃貸借・使用料
合計	4,723	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

職業能力開発促進法に基づき設置・運営している県立職業能力開発訓練施設において、ITを活用した授業、学生等の就職活動支援等に活用する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

職業訓練の実施に必要なIT機器について整備、維持管理をするものであり、数値的な指標を設けることは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	国際たくみアカデミー及び木工芸術スクールにおいて情報システムを活用した授業及び就職活動支援等を実施した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年度	国際たくみアカデミー及び木工芸術スクールにおいて情報システムを活用した授業及び就職活動支援等を実施した。システム改修を実施した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年度	国際たくみアカデミー及び木工芸術スクールにおいて情報システムを活用した授業及び就職活動支援等を実施した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	授業・訓練や広報・就職支援等に使用する一連のサーバの保守や、指導員・訓練生用パソコンの保守運用等に関する経費。 厚生労働省の第11次職業能力開発計画において、公的職業訓練のICT化を推進しており、岐阜県としても職業訓練のDXを達成し、業務全体の見える化、効率化、簡素化を進め、地元企業や訓練生、指導員の満足度を向上させていく必要があることから、その基盤となる当該システムの必要性は増加している。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	昨年度同様、パソコン機器及びネットワーク環境の整備・保守により、訓練に必要な情報収集、情報共有などに活用した訓練を実施している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	昨年度同様、学生も使用するパソコン機器及びネットワーク環境のセキュリティ管理及び機器の借上げを行うことにより、適正な環境での訓練を実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 日々進んでいくIT技術の進歩に対応して行くため、情報システムの整備を適切に行い、AI等への対応も含めた訓練を行っていく。 また、システムの使用状況等を随時確認するとともに適切な改善を行っていく。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 職業訓練における情報システムの必要性や当校で整備したシステムの稼働状況等を踏まえ、適宜、システムの整備、改善を計画的に実施していく。
